

日本教育保健学会年報第2号

巻頭言

森昭三(筑波大学・日本教育保健研究会会長)

第I部 総説

・現代の学校と保健室ー子どもたちは保健室に何を求めてやってくるのかー

藤田和也(一橋大学)

・健康に生きることと保健認識の形成～上からの論理と下からの論理をどう統合・実践するのか～

戸野塚厚子(宮城学院女子大学)

・「生きる力」を保健の授業で

平野和弘(浦和商业高校定時制)

第II部 原著

・戦後保健教育実践史研究ー加賀野小学校特設保健科の成立過程と斉藤実践「加賀野の水」の分析ー

小浜明(東北工業大学保健体育科)・戸野塚厚子(宮城学院女子大学教育保健教室)

・中学生を対象にしたエイズの授業研究

福富和博(熊本大学教育学部)・木村正治(熊本大学教育学部)

第III部 報告

・小学校における新学習指導要領による保健学習

安徳和幸(福岡県八女郡黒木町笠原小学校)・照屋博行(福岡教育大学)

・「教具や体験学習による効果的な保健授業に関する検討」

佐藤洋子(郡山ザベリオ学園小学校)・佐藤理(福島大学教育学部)

第IV部 書評

・数見隆生著:『教育保健学への構図』, 大修館書店, 1994 「健康の主体形成」への収斂

藤田和也(一橋大学)

第V部 資料

・シンポジウム「今あらためて学校健康診断の意義を問うー教育的アプローチと予防医学的アプローチからー」をふりかえって

澤山信一(順正短期大学)

・第1回日本教育保健研究会報告

シンポジウム I 「現代の学校と保健室」

数見隆生(宮城教育大学)

シンポジウムⅡ「健康に生きる」と保健認識の形成」のまとめ

和唐正勝(宇都宮大学)・野村和雄(愛知教育大学)